

## はじめに

平和学者のヨハン・ガルトウングは1969年に、平和の対義語を暴力とし、差別や貧困なども暴力の一種だと考え、これに「構造的暴力」と名付けました。そして戦争など直接的暴力のない状態を「消極的平和」、構造的暴力のない状態を「積極的平和」としました。

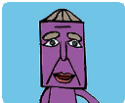
1990年には、直接的・構造的暴力を正当化する文化のあり方を「文化的暴力」と呼び、暴力概念がさらに拡張されました。これにともなってガルトウングは近年、消極的・積極的平和の概念の再定義を試みています。

平和な社会にするためには、すべての暴力をなくすこと（＝消極的平和）だけではなく、何かが「ある」状態、つまり「協力や平等、対話や平和の文化が“ある”状態」＝積極的平和）も必要です。このアニメでは戦争が作られる過程を描きつつ、消極的平和、積極的平和について伝えます。

## 登場人物



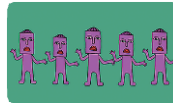
オラン婆



ガルン爺



オラン人



ガルン人

## あらすじ

オラン国とガルン国は、小さな川を挟んで隣同士。互いに温暖な気候を生かしてオレンジを栽培しながら、平和に暮らしていた。日照り不足が続く中、オレンジ栽培に必要な川の水を、上流に住むガルン人がせき止めてしまいオラン人は激怒する。

ガルン人と争おうと盛り上がる一部のオラン人たち。戦争をしたいオラン人たちはあの手この手を使って国中を戦いへと扇動していき……

# シナリオ全文

N A ここは、オラン国とガルン国の国境地帯。小さな川をはさんで下流でオラン人達が上流ではガルン人達が、温暖な気候を生かしてオレンジを栽培して暮らしていました。ところが最近は雨が降らず、日照り続きでオレンジがどんどん枯れてしまい、オラン人もガルン人も水不足に悩んでいました。

ある日、ひとりのオラン人が川へ水を汲みに行くと昨日までは、わずかにあった川の水が完全に干上がっていました。びっくりして見ると、ガルン人達が川をせき止めて水を独り占めしていました。

オラン人A お前たち、何をやってるんだ！ オラン国に水を返せ！

ガルンA女 それはムリよ。

ガルン人B オレンジ畑が枯れたら俺たちはどうやって食べていけばいいんだい？

ガルン複数 だめだめ。

無理無理。

オラン人A うぬう……。

N A これに怒ったオラン人は、すぐさま自分たちの畑に戻って、このことを仲間達に知らせました。

長い日照りで、ただでさえ苛立っていたオラン人達は、とても怒りました。

オラン人A ガルン国と戦争だっ！

オラン複数 そうだそうだ！

N A オラン国は、ガルン国と強硬姿勢で戦争するか、話し合うかを選挙で決めることになりました。

どうしても戦争したいオラン人達は、ガルン人についての悪いウワサをある事ない事言いふらしました。

オラン人A 見てくれ、この姿！ ガルン人にやられた！！

オランD女 まあ、恐ろしい。ガルン人はなんて野蛮なのかしら。

N A こんな話ばかり聞いているオラン人たちは、ガルン人に対する怒りと不安を募（つの）らせ、戦争するべきだと考える人や、本当は戦争はしたくないけれど仕方ない、と考える人たちが出てきて、選挙の結果は、多数決でガルン人と戦争することが決まりました。

政治や選挙に無関心な人も多くいました。

オラン人B 選挙やってたの？ まあ、関係ないや。

オランE女 選挙？ よくわかんないし。

N A その後、オラン国では独裁的な政治が始まり、まずは軍隊が作られました。学校では悪いガルン人と戦うオラン人は素晴らしいと教えられました。

テレビでは、ガルン人を中傷するニュースが流れ、本も映画も、娯楽的なものは禁止され、戦意を煽るものだけが許されました。

一方で、行き過ぎたやり方に眉をひそめるものもいました。

オランダ女 確かに選挙では戦争を支持したけど…。これからどうなっちゃうのかしら、オラン国は。なんだか不安だわ。

オラン人C 今からでも遅くない。戦争はやめて、ガルン人と話合ったほうがいいんじゃないか。

N A ところがオラン政府は、国の方針に反対したり、意見するものは、話し合うだけで逮捕するという法律を作り、取り締まりました。

オラン人C 俺たちが何をやったって言うんだ！

オランダ女 あたし達はただ、自分たちの考えを、言ってただけなのよ！

オラン人B 話してただけで逮捕されるなんて、おかしすぎる！  
うるさい！法律で決まったんだ！お前らも知ってるだろ！！  
(靡しまる)

N A こうして、国民は政府のやり方に対してものが言えなくなり、オラン国は戦争へと突き進んで行きました。  
(黒い場面→だんだん青くなっていく)  
(空に浮かぶ雲の上に杖をついたオラン人とガルン人の祖先)

オラン婆 いやはや大変なことになってしまった。

ガルン爺 なんとかして、戦争が起こらないようにしたいのう。

オラン婆 それには暴力とは何なのか、まずは、そこを理解することが必要となってくるのう。  
(「暴力」というテロップ表示)

ガルン爺 実は暴力は3種類ある!!

オラン婆 そうそう。3つのうちの1つめは。

ガルン爺 直接的暴力。  
(字幕で直接的暴力)

ガルン爺 戦争もそうじゃが、殴ったり、蹴ったり、ひどいことを言ったり。直接相手を傷つけることを直接的暴力というんじゃ。  
(ストーリー中の直接的暴力の場面が出る)

オラン婆 2つめは、構造的暴力。  
(字幕で構造的暴力)

オラン婆 構造的暴力とは、直接的暴力を可能とする社会の仕組みじゃ。  
(ストーリー中の構造的暴力の場面が出る)

ガルン爺 例えば軍隊があること。戦争ができる法律があること。差別や貧困も構造的暴力じゃ。

オラン婆 3つめ。

ガルン爺 三つ目は文化的暴力じゃ。直接的暴力と構造的暴力を正当化し支えている、ものの見方や考え方じゃ。  
(字幕で文化的暴力)

オラン婆 例えば、自分たちの民族は他の民族より優れているとか、自分たちの考え方が絶対に正しいという意識や社会の風潮。あるいは戦争は自分とは関係がないという無関心さも、文化的暴力と言える。

(ストーリーの中の宣伝→教育→無投票)

- ガルン爺 この3つの暴力は、互いに影響しあっているのじゃ。
- オラン婆 さあて、これを“平和”にするにはどうすればいいのか。
- ガルン爺 暴力がない状態、それが“平和な状態”といえるんじゃないかな？  
(平和の文字が出て、3つの暴力が小さくなる)
- ガルン爺 直接的暴力、構造的暴力、文化的暴力。この3つの暴力がないこと。  
(平和の文字が大きくなり、それ以外の文字が小さくなっていく)
- ガルン爺 それを、わしらは消極的平和と呼んでいるんじゃ。
- オラン婆 “消極的平和”と言っても、マイナスな意味じゃないぞ。消極的平和はとでも大切なことじゃ。
- ガルン爺 そうそう。
- オラン婆 でも、平和をキープするには、それぞれの暴力を、それぞれ平和にしてい  
く必要がある。  
(暴力→平和)
- ガルン爺 キーワードは、“何々があること”！ じゃ。そういう状態を、わしらは「積  
極的平和」と呼んでおる。  
(字幕「積極的平和『ある』」)
- ガルン爺 直接的暴力を、くると直接的平和にする。  
(字とイラスト「直接的暴力」裏返って「直接的平和」)
- オラン婆 例えば、“協力”があること。  
(字幕「協力」)
- ガルン爺 構造的暴力を、くると構造的平和にする。  
(字とイラスト「構造的暴力」裏返って「構造的平和」)
- オラン婆 例えば、“平等”があること。  
(字幕「平等」)
- ガルン爺 文化的暴力を、くると文化的平和にする。  
(字とイラスト「文化的暴力」裏返って「文化的平和」)
- オラン婆 例えば、“対話”があったり、平和の文化があるとかな。じゃな。  
(字幕「対話」)
- オラン婆 ……。
- (2人でじっと黙る。間をもたせて。)
- オラン婆 さて。じーさん、久しぶりに、ちょっと地上に降りて、消極的平和と積極  
的平和の知恵を授けに行ってくるかのお。
- ガルン爺 おお、久しぶりの地上じゃ。テンション上がるのう！
- オラン婆 それ～！
- ガルン爺 ひゃっほー！！
- ガルン爺 アイタタタ。地上はこんなに重力があったかの一。
- オラン婆 こりゃあ、足腰にくるわい。
- N A こうして、2人は平和的に問題を解決する大切さを説きながら、あちこち  
を歩いて回りました。

その甲斐あって、戦争をするのはやめて、オラン国とガルン国は、話し合いをすることになりました。

オラン婆

よし、これで戦争はなくなった。

ガルン爺

消極的平和のできあがりじゃ〜。

オラン婆

積極的平和は、どうかの？

N A

話し合いの結果、ガルン人とオラン人は協力して、ため池を作り、井戸を掘って共同で使うことに決めました。

それからは、雨が降らない日でも、オレンジはいつでも豊作。国も豊かになり、病院が増え、みんなが教育を受けられるようになりました。

(ふわふわと2人IN)

オラン婆

ほら見てみい、じーさん。“協力”がある！ じゃな。

(字幕「積極的平和『ある』」)

ガルン爺

そうじゃのお〜。積極的平和の特徴、平和をキープする、何かがある、という状態じゃ。

ガルン爺

おお、おお、学校では、平和を作るための授業をやっているのう。

オラン婆

そう、平和のための授業が“ある”！ じゃ。

(字幕「積極的平和『ある』」)

ガルン爺

これは報道の自由がある！ かのう？

オラン婆

そうじゃ、それに、平和的なニュースをながすメディアがある！ とも言える。

(字幕「積極的平和『ある』」)

ガルン爺

ほほう。平和の文化が育つような映画をみてるの。

オラン婆

どうやら、積極的平和がだいぶ広がってきたようじゃの。

オラン婆

よかった、よかった。

ガルン爺

よかったのう。

オラン婆

ガルン爺

わっはーっはっはー。

(元気よく、長めに。フェイドアウトでEND)